

SHIKOKUKAI NEWS

四国会 ニュース

2023夏季号

vol. 82



提供：高知県観光コンベンション協会

日本公認会計士協会四国会

目 次

第57回定期総会議事録	3
会長 あいさつ	久保 誉一 4
協会会長 祝辞	茂木 哲也 5
四国財務局長 祝辞	米田 博文 6
香川県知事 祝辞	7
高松市長 祝辞	8
定期総会・懇親会 スナップ写真	9
令和4年度冬季CPA四国会 親睦ゴルフ大会	12
第57回CPA四国会定期総会 親睦ゴルフ大会	13
新入会員・準会員の自己紹介	14
役員会だより	15
委員会だより	19
準会員会四国分会だより	22
トピックス	23
四国会行事予定	25
研修会実施概要	26
会員の状況	28
慶弔	29
異動一覧	29
寄贈等新刊図書一覧	30
研修免除・軽減の申請について	31
高松国税不服審判所からのお知らせ	32
あとがき	34

日本公認会計士協会四国会 第57回定期総会議事録

2023年6月20日(火)午後3時より、高松市のJRホテルクレメント高松において、日本公認会計士協会四国会第57回定期総会を開催した。新型コロナウイルス感染拡大が収束しつつあることや感染法上の5類移行などから、4年ぶりの会場参集のみの開催となった。

亀川幹事が司会を担当し、橋本副会長が開会を宣した後、久保会長の挨拶があった。続いて司会より来賓の紹介が行われ、来賓を代表して米田四国財務局長、池田香川県知事、大西高松市長の3名から祝辞を受けた。この後、来賓が退席し、祝電披露、物故者に対する黙祷の後、議事に入った。

久保会長が議長席につき、橋川総務・会計担当幹事に本日の定足数についての報告を求め、橋川幹事から、「四国会に所属する会員及び準会員の合計275名のうち、会場出席の会員・準会員は43名、委任状提出者は53名、合計96名であり、総会成立の定足数は会員・準会員総数の5分の1以上、すなわち55名以上であるため、本会は有効に成立している。」旨報告があった。

議長は、続いて議事録署名人として黒川一也会員、森貴弘会員の2名を指名し、議題の「報告事項」に入った。

【報告事項】

1. 第57事業年度 事業及び会務の概況

総務・会計担当の橋川幹事より、「1. 第57事業年度 事業及び会務の概況」について、次のとおり報告が行われ、出席者一同異議なく了承された。

I. 事業に関する事項については、

- (1) 各委員会の活動
- (2) 継続的専門研修制度
- (3) 後進育成
- (4) 広報活動
- (5) 関係団体との交流等
- (6) 会員業務に係る業務推薦等が、

II. 会務に関する事項については、

- (1) 会員及び準会員の現況並びに異動
- (2) 総会の開催
- (3) 役員
- (4) 役員会の開催
- (5) 協会本部役員及び本部委員会委員等
- (6) 委員会等の構成員
- (7) 厚生活動
- (8) 事務局の運営

続いて、審議事項の審議に移った。

【審議事項】

第1号議案 第57事業年度 財務諸表等 承認の件

議長が、橋川幹事に第57事業年度の決算報告を求め、同幹事は「議案書」に基づき財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書、附属明細書等）についての説明を行った。

続いて、堀川監事から「業務の執行は規約に従い総会並びに役員会の決議に基づき誠実に実行されており、また財務諸表等は、本会の損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。」との監査結果の報告があった。

議長が本案について出席者一同に諮ったところ、全員異議なく、委任状による賛成を合わせ原案どおり承認された。

第2号議案 第58事業年度 事業計画案 承認の件

橋川幹事より「議案書」に基づき「第58事業年度 事業計画案」についての具体的な説明があり、議長が本案について出席者一同に諮ったところ、全員異議なく、委任状による賛成を合わせ原案どおり承認された。

第3号議案 第58事業年度 正味財産増減に係る予算書案及び資金調達、設備投資及び特定資産に係る予算書案 承認の件

橋川幹事より「議案書」に基づき「第58事業年度 正味財産増減に係る予算書案」及び「資金調達、設備投資及び特定資産に係る予算書案」についての具体的な説明があり、議長が本案について出席者一同に諮ったところ、全員異議なく、委任状による賛成を合わせ原案どおり承認された。

第4号議案 四国会規約の一部変更（案）承認の件

議長の久保会長より「議案書」に基づき四国会規約の一部変更についての内容説明があり、議長が本案について出席者一同に諮ったところ、全員異議なく、委任状による賛成を合わせ原案通り承認された。

以上をもって、本日の議案は全て終了したので、午後3時57分、孝志幹事が閉会を宣した。



会長 あいさつ

日本公認会計士協会
四国会会長 久保 誉一

本日はお忙しい中、第57回四国会定期総会にご出席いただきありがとうございます。特に、米田四国財務局長様、池田香川県知事様、大西高松市長様はじめ多くのご来賓の方々におかれましては、ご多忙にもかかわらずご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、協会本部からは茂木会長にお越しいただいており、後ほど本部会務報告で私たちを取り巻く環境と協会としての取り組みについてお話いただけるものと思います。さて、開会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

昨年までコロナウイルスへの対応により、ハイブリッドでの定期総会の開催でしたが、コロナウイルスの取扱いが5類へ移行したことから今年は会場のみでの開催としました。コロナ前の状況へようやく戻ったことは、大変、喜ばしいことと思っています。とはいえコロナの感染が落ち着いたのは、今年3月くらいからであり、それまでは手探りの中で会務を行って参りました。四国会の役員の皆様、四国会事務局の方々には、改めて感謝を申し上げます。

昨年の定期総会での私の挨拶で、「まずはコロナ前の活動に少しでも復活させていきたい」とお伝えし、その機会を伺いながら会務を行いました。地域会の主な活動は、地域のステークホルダの皆様との連携、会員への有益な情報提供と交流の機会の創出、将来の人材の確保のための活動があげられ、そのいずれもが多くの人との接触を前提とするものです。

1つ目の地域のステークホルダの方との連携につきましては、四国財務局による香川大学での

寄付講義への参加、女性会計士活躍推進委員会による四国財務局長様及び日銀高松支店長様との意見交換等を行うことができました。

2つ目の会員の皆様への情報提供と交流の機会の創出につきましては、研修に関してはリモート中心の開催となりましたが、倫理規則の改正や、非財務情報開示、東京プロマーケットに係るトピックなテーマのほか、中国会との共催で開催している公認会計士監査審査会の松井会長を講師とする有意義な研修も予定通り開催できました。会員同士の交流の機会については、今年になってようやく各県部会で開催できるようになりました。コロナ前に比べて懇親会への参加人数は増えていると思いますし、若い会員の方の参加も増えており、好ましいことと思っています。

3つ目の将来の人材確保のための活動につきましては、各県部会長、会員の皆様のご尽力により、公認会計士制度説明会（職業紹介）を再開し、積極的にその訪問を増やしました。四国4県で13か所の学校又は団体を訪問しました。制度説明会に参加していただいた学生の人数は合計745名となっており、数年後にこの中から私たちの仲間が出てきてくれることを期待しています。

最後になりますが、新年度は通常通りの会務が行えるものと期待しております。監査のより一層の品質向上、監査の領域の拡大等、私たち公認会計士への社会からの期待は、ますます高まっていくものと思います。会員の皆様への有意義な情報提供を行うとともに、ステークホルダの方々との連携もより一層緊密にさせていただければと思っています。会員の皆様には、引き続き会務への積極的なご参加と、ご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



協会会長 祝辞

日本公認会計士協会
会長 茂木 哲也

本日は、日本公認会計士協会四国会の第57回定期総会の開催、誠にありがとうございます。

四国会定期総会が開催されるに当たって、一言ご挨拶申し上げます。

昨年7月に私が会長に就任してから約1年が経過しました。協会のタグライン「信頼の力を未来へ」に込めた、「公認会計士が社会の期待に応え、社会に信頼を創ることによって、国民経済の健全な発展に寄与し、安心して活力に満ちた豊かな未来の創造に貢献する」という想いを実現すべく、これまで会務運営に邁進してきました。

この1年を振り返りますと、特に注力いたしましたのは、公認会計士法改正への対応です。上場会社監査の担い手の裾野の拡大を背景に、監査品質を一層向上させるための仕組みとして、これまで自主規制としての制度であった上場会社を監査する事務所に対する登録制度が、法律上の制度として位置付けられました。当協会が本制度の運用を引き続き担いますが、法改正の趣旨を踏まえた適切かつ厳格な運用を行い、社会から期待される役割をしっかりと果たすことで、資本市場の信頼性確保に尽力してまいります。

また、今回の法改正により企業等に勤務している公認会計士の登録事項に「勤務先」が追加されることになりました。昨今は、社会からの期待を背景に、公認会計士に求められる業務が多様化しており、例えば、企業経理に従事する方、社外役員に就任する方など、監査業務に携わらない方が増加しています。従前の登録内容ではこのような方々の適切な実態把握が難しいことから、この課題を克服すべく当協会が要望し、法改正が実現したものです。当協会は、これらの会員のニーズも的確に捉え、研修会の一層の充実やネットワークの活性化等、様々な支援策に取り組んでまいります。

こういった公認会計士の活躍の場の広がりが望ましいことである一方、監査法人に所属する会員は今や4割ほどであり、中核業務である「監査」に携わる人材の確保・維持も急務です。監査業務に携わる方の中には、日々の業務に追われ将来の夢を描けず、自身のキャリア形成にも思い悩む方がいると聞きます。他方で、監査業務以外の領域

で活躍している会員の方からは「監査で培った知識・経験はかけがえのないものである」という声もよく聞きます。監査が社会的に果たす意義や仕事のやりがいを再認識していただき、将来のキャリア形成として明るい未来を描けるように、協会としても監査の魅力を発信していきます。

加えて、これから公認会計士を目指す人材を増やすことにも注力します。ありがたいことに近年の公認会計士試験受験者数は増加傾向にあります。中学校や高等学校の授業で「会計情報の活用」が取り上げられることになり、会計リテラシーの普及とともに、公認会計士という仕事に興味を持っていただける機会も増えてきていると考えています。また、先の法改正により、会計教育の普及・啓発活動を協会が実施することが法律上でも明記されました。社会全体の会計リテラシーの向上を目指すとともに、多くの方に公認会計士への理解を深めていただき、この業界に加わっていただけるような取組を進めてまいります。これまで地域会の方々に多大なご尽力をいただき活発に行ってきました「ハロー！会計」や「制度説明会」を含む会計教育への取組を更に進めることで、より一層会計リテラシーを広げていけるよう、引き続きご協力いただけますと幸いです。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月から5類感染症に変更となり、顔を合わせた交流がしやすくなってきました。コロナ禍の約3年間では、社会のDX推進や働き方の多様化など大きなイノベーションもありました。一方で、新たな生活様式やデジタル社会の下で、人と人とのつながりをどう維持していくかも重要です。これからは、コロナ禍で新たに得られた知見を引き続き生かしていくとともに、失われたものを取り戻していくべく、必要な対外的活動を広げていく所存です。四国会の皆さまも是非、地域のステークホルダーの方々と積極的に対話・交流していただき、そういった活動を通じて得た気付きを共有いただくことで、会務に生かしていきたいと思えます。

最後になりますが、四国会の益々のご発展と、会員の皆様、事務局の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りして、私のご挨拶といたします。



四国財務局長 祝辞

四国財務局長 米田 博文

本日は、「第57回日本公認会計士協会 四国会定期総会」が、盛大に開催されましたこと、心よりお喜び申し上げます。また、このような場にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。

四国会会員の皆様におかれましては、監査・会計の専門家として、財務書類等の内容を検証し、その信頼性の確保に努めることで、経済社会の健全な発展に寄与いただいておりますことに心から感謝いたします。

また、日頃から四国財務局の業務運営に幅広くご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年末に女性会計士の方々と懇談する機会がありました。先生方からは、会計士試験を通じた財務局とのご縁や業務の広がり、香川へのUターンや子育てとの両立など、エネルギーに活躍されていることを伺いました。

先日「女性版骨太の方針2023」が決定されました。同方針では、女性活躍と経済成長の好循環の実現に向けた取組を推進する観点から、東証プライム上場企業における女性役員比率を30年までに30%以上とすることを目指すこと等の数値目標が示されるとともに、女性に多い非正規雇用労働者などの現状等を踏まえ、女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の強化についても取組むこととしています。

女性活躍につきましては、会計士協会においても30年度までに公認会計士試験合格者の女性比率を30%とし、48年度までに会員・準会員の女性比率を30%とすると目標設定され、その達成に向けて着実に歩みを進められているところであり、政府

の方針のいずれをも先取りする取組として期待されています。

人口減少・少子高齢化は全国的な課題ですが、四国の人口減少スピードは他地域より早く、高齢化の進展も全国の10年以上先を行くと言われております。生産年齢人口が減少する中で、四国経済を成長させるためには、女性活躍推進に加え、ITデジタルの導入や新たな技術革新により、生産性を向上させることが必要不可欠です。

既に異常取引の検知や作業の自動化などにデジタル技術を駆使することによって、効率的な監査が行われていると聞いております。こういった取組を更に深化させて生産性を高め、加えて会計監査の品質向上に努めていただくことを期待しております。

公認会計士の魅力には、社会的地位や収入が高く、活躍できるフィールドが広い、そして女性にとっても働きやすい等があげられますが、四国会の皆様におかれましては、その存在や行動が社会課題の解決にも寄与していることを再認識いただき、今後とも精力的に取り組んでいただきたいと思っております。私共、四国財務局といたしましても、様々な機会を通じて会計士制度や業務内容等について広報に努め、皆様の活動を支援してまいります。

最後になりましたが、会計士協会四国会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



香川県知事 祝辞

香川県知事 池田 豊人

日本公認会計士協会四国会の定期総会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、四国各地からご参加の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

久保会長をはじめ会員の皆様方には、独立、公正な立場から、会計監査を通じて、企業の健全な発展に大きく寄与されるのみならず、地方行政においても、各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいております。厚くお礼を申し上げます。

また、継続的な専門研修を行い、公認会計士としての能力の向上に向けて日々研鑽に努められているほか、高校生や大学生を対象とした公認会計士制度に関する講義を行うなど、社会貢献活動にも積極的に取り組まれており、深く敬意を表します。

現在、我が国では、人口減少や少子高齢化などが加速的に進んでいることに加え、急激な原油・物価高騰など、地域社会経済や県民生活に大きな影響を及ぼすような事象が発生しています。

このような状況を踏まえ、本県では、人生100年時代を迎える中、すべての県民が生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる地域社会を全国に先駆けて実現する「人生100年時代のフロンティア県」を実現するため、安全・安心で住みたくなる香川をつくる「県民100万人計画」、活力に満ち挑戦できる香川をつくる「デジタル田園都市100計画」、多くの人が行き交い訪れたくなる香川をつくる「にぎわい100計画」の3つの100計画を柱として各種施策に取り組んでいるところです。

こうした中、皆様方には、包括外部監査において、「産業振興施策に関する財務事務の執行」や

「防災に係る事業に関する財務事務の執行」、「子ども・子育て支援に関する財務事務の執行」などについて、貴重なご意見やご指摘をいただくとともに、県の外郭団体においても、監事等のお立場で、適正な事業執行や運営等の確保にご尽力いただいております。

また、本県では、公認会計士をはじめ有識者の方々で構成する香川県行財政改革推進会議のお力添えをいただきながら、行財政改革を進めているところですが、社会構造が大きく変化し、将来の予測が困難となる中、新たな行政課題に柔軟に対応するためには、失敗を恐れず行動していく「挑戦」の姿勢を持って行政経営に取り組むことが求められます。今後とも、こうした県民の皆様のご期待と信頼に応えられるよう努めてまいりますので、より一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

ところで、来月には、先月19日から21日にかけて開催されましたG7広島サミットに続き、関係閣僚会合の一つである都市大臣会合がここ高松市で開催されます。高松市での関係閣僚会合開催は7年ぶり2回目となりますが、瀬戸内地域が注目を集めるこのチャンスを活かして、香川の魅力を国内外へ発信し、交流人口の拡大や地域活性化につなげたいと考えていますので、皆様方には、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、日本公認会計士協会四国会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍をお祈りしまして、お祝いの言葉といたします。



高松市長 祝辞

高松市長 大西 秀人

皆様、こんにちは。高松市長の大西秀人でございます。

本日、「日本公認会計士協会四国会第57回定期総会」が、関係皆様方、多数御出席の下、ここ「瀬戸の都・高松」において開催されることに対しまして、心からお喜びを申し上げますとともに、四国各地から御来高いただいた皆様方を、42万高松市民を代表し、歓迎申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から、企業や地方公共団体の監査業務はもとより、各種団体への会計指導、更には税務やコンサルティング業務など、資格職としての深い見識を基に、幅広い分野にわたって御活躍され、我が国の監査・会計制度の一翼を担われておられますこと、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、近年、官民を問わず、各種経済活動における、会計や経営内容の透明化が、以前にも増して強く求められているところでございます。本市におきましても、平成11年度の中核市移行後、貴会の御協力をいただきながら、毎年度、包括外部監査を実施してございまして、様々な視点からの貴重な御指摘や御意見に対して措置を行い、効果的かつ効率的な行財政運営や、活力あるまちづくりに取り組んでいるところでございます。

このような状況の中、「監査及び会計の専門家」としての公認会計士の皆様方の担う役割は、ますます重要になっているものと存じております。どうか、皆様方におかれましては、今後とも、監査・会計制度の充実・発展のため、更なる御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、御来高いただいた皆様方におかれましては、せっかくの機会でございますので、日本三大水城の一つである高松城跡「玉藻公園」や、特別名勝「栗林公園」、源平の古戦場「屋島」など、本市が誇る景勝地を御覧いただきますとともに、本場のさぬきうどんや瀬戸内海の新鮮な海の幸なども御賞味いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、日本公認会計士協会四国会の今後ますますの御発展と、久保会長を始め、本日御参会の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。御挨拶といたします。



定期総会・懇親会 スナップ写真



定期総会終了後、午後6時よりJRクレメント高松3階「玉藻」において、7名の来賓のご臨席を賜り、懇親会パーティーが開催されました。

茂木会長のご挨拶を頂いた後、四国税理士会浜崎会長の挨拶、乾杯の音頭で開宴し、料理を味わいながら賑やかに午後8時に盛会裏に散会しました。







令和4年度冬季CPA四国会 親睦ゴルフ大会

世話人 武智 弘泰
(愛媛県部会)

2023年2月11日(土)に令和4年度冬季CPA四国会親睦ゴルフ大会が、愛媛県今治市のシーサイドカントリークラブにて開催されました。

当日の天候は晴れ。冬の合間にも関わらず恵まれた天候の中でのプレーとなりました。

が、少し風が強かったせいで「天気晴朗なれども波高し」の状況が続き、私を含め数名は苦勞のラウンドとなってしまいました。

そんな風の中をかいくぐり、優勝は、アウト48、

イン50、グロス98の池田先生(愛媛県部会)でした。

また、ベストグロス賞はアウト53、イン43、グロス96で今回唯一の香川県部会からの参加となりました久保先生(香川県部会)となっております。

(お詫び：筆者のメモ紛失によりドラコン／ニアピンを記載できませんでした。該当の先生にはお詫び申し上げます)

次回も多数の皆様の参加をお待ちしております。



成績表

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	池田 喜志高	48	50	98	22.8	75.2
2位	久保 誉一	53	43	96	19.2	76.7
3位	北田 隆	51	48	99	21.6	77.4
4位	武智 弘泰	52	51	103	25.2	77.8
5位	西原 弘記	57	60	117	36.0	81.0
6位	矢野 和弘	51	53	104	20.4	83.6
7位	森 貴弘	53	54	107	22.8	84.2
8位	檜垣 貴雅	66	62	128	36.0	92.0

第57回CPA四国会定期総会 親睦ゴルフ大会

世話人 久保 誉一
(香川県部会)

第57回四国会定期総会懇親ゴルフ大会が、6月24日(土)に琴平カントリー倶楽部で開催されました。コロナで開催が中止となっていましたので、3年ぶりの開催です。定期総会の翌日開催ではありませんでしたが、愛媛県の先生方も遠方からお越しいただき、仲良くゴルフ大会が開催できました。

参会者の全員が馴染みのないコースで、かなりトリッキーなホールもありました。お陰で私もボールがたくさん無くなりました。皆さんも前半はどうなることかと思いましたが、後半からは落ち着いてラウンドされたと思います。お天気も快晴で、綺麗なコースでした。

参加者は6名であり、少人数で仲良くラウンドでき、スコアも仲良く似たような感じでした。若い会員の皆様や、ゴルフ初心者の会員の皆様も、次回はお気軽に参加していただければと思います。



成績表

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	久保 誉一	45	50	95	22.0	73.0
2位	武智 弘泰	51	46	97	20.0	77.0
3位	中村 秀明	46	49	95	17.0	78.0
4位	山地 圭二	48	50	98	18.0	80.0
5位	丸木 公介	49	51	100	18.0	82.0
6位	宮本 拡嗣	62	65	127	35.0	92.0

新入会員・準会員の自己紹介

会員（香川県部会）

村井 貴臣

(2023.1.30 転入)

四国会所属の皆様、初めまして。

今回、四国会に入会させていただくこととなりました村井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年までは広島に住んでいました、出身地である愛媛に引っ越ししましたので地元に戻ってきた形となります。

現在は監査法人に勤務していますが、業務を通じて愛媛を含む四国の地域経済の発展のために少しでもお役に立てれば幸いです。

また、地元とは言え四国のことで知らない点も多いですので、色々な場所に行ってみたいと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。



準会員（香川県部会）

小野 敬大

(2023.1.25 転入)

この度、四国会の準会員に入会いたしました小野敬大（オノタカヒロ）と申します。

私は愛媛県出身で、高校までは愛媛県で暮らしていましたが、高校卒業後、京都の大学に進学しました。大学卒業後、愛媛県庁に就職し、約6年間働いておりました。愛媛県庁では税務課、商工観光課（八幡浜市役所）、県民生活課と3つの部署を経験いたしました。

その後、専門的な仕事をしたいという思いから会計士を目指すようになり、当初は働きながら勉強しておりましたが、仕事を辞めて1年ほど勉強に専念して、ようやく試験に合格することができました。

入社後最初の繁忙期は、先輩方の手厚いサポートのおかげで乗り切ることができました。今後は逆に先輩達のサポートができるように、様々なことに興味を持つことを意識し、日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

社会人としても会計士としてもまだまだ未熟者でありますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



役員会だより

四国会定例役員会議事録

(2022年度第4回)

1. 日 時

2023年2月10日(金)

午後3時～午後5時30分

2. 場 所

ANAクラウンプラザホテル松山

(松山市一番町)

3. 出席者 (21名)

(会 長) 久保誉一

(副会長) 東 圭介※、矢野和弘、
真鍋恵美子、橋本 誠

(幹 事) 池田哲也※、越智慶太※、
亀川絵美子※、黒川一也※、
塚本秀和※、野村幸太郎※、
橋川浩之、秋葉 見、
井料 愛、高須賀経、
別府 淳※、森 貴弘、
孝志洋平※、斉藤 章※

(監 事) 堀川紀之※、福山 優※

※はオンライン参加者

4. 欠席者 (1名)

田中里佳 (幹事)

5. 出席顧問 (1名)

吉井 修

6. 陪席者 (2名)

浪越敬二事務局長、香川佳美職員

7. 議 事

I 【会長挨拶】

久保会長より冒頭の挨拶があり、続いて、橋川総務・会計担当幹事が司会者となり、出席者が定足数を満たしている旨の報告を行った。その後、久保会長が議長となり、議事録署名人に井料幹事を指名し、議事に入った。

II 【審議事項】

(1) 県部会事務の効率化について

久保会長から、前回役員会における協議内容を反映したもので、本日、審議をお願いするとして、資料に基づき説明があった。質疑応答の後、全員挙手により承認された。

(2) 四国会規約等の一部変更(案)について

- ・日本公認会計士協会四国会規約
- ・日本公認会計士協会四国会 各県部会規約

久保会長から、審議事項1の承認に伴う規約等の変更である旨のコメントの後、指名により、浪越事務局長が資料に基づき説明した。なお、四国会規約の変更(案)については、協会本部の確認を得ている旨の補足があった。県部会規約(ひな型)については、一部修正を加えることで、質疑応答の後、全員挙手により承認された。

(3) 2023年度の事業計画(案)・正味財産増減に係る予算書(案)について

久保会長から事業計画(案)について、橋川総務・会計担当幹事から正味財産増減に係る予算(案)について、資料に基づき説明があった。また、橋川総務・会計担当幹事からは、前段で報告事項1の2022年度の正味財産増減見込みについての報告がなされた。

吉井顧問から、本日の審議事項の内容についての織り込みの有無について質問があり橋川総務・会計担当幹事及び浪越事務局長から、審議事項1については織り込み済み、審議事項4については織り込んでいないとの回答がなされた。

本日の審議結果や今後の動きを織り込み、次回役員会で最終審議することで、全員挙手により承認された。

(4) 事務局人事について

- ・事務局長役職更新について
- ・非常勤スタッフ(業務職員)の契約更新について

久保会長から資料に基づき説明があり、事務局長役職更新及び非常勤スタッフの契約更

新について、個々に決議を求めた結果、全員
挙手により双方ともに承認された。

Ⅲ【報告事項】

(1) 2022年度の正味財産増減見込みについて
審議事項1の前段で橋川総務・会計担当幹
事から説明、報告があった。

(2) 2023年度の研修会開催計画(案)について
久保会長から資料に基づき報告があった。

(3) 研修会実施報告及び開催予定について
以下について、塚本幹事から資料に基づき
報告があった。

・実施報告

① 2022年下期会計・監査トピックス研修会
(2022年12月26日(月)四国会研修室+リモート)

② 税務業務分会共催 税務研修会
(2023年2月6日(月)四国会研修室+リモート)

・開催予定(別紙参照)

(4) 【2022年度厚生事業】図書配付申込状況に
ついて

橋川総務・会計担当から資料に基づき報告
があった。

(5) 富岡東中学校制度説明会(2022年12月7日(水))
について

真鍋副会長幹事から資料に基づき報告があ
った。

(6) 松山東高等学校制度説明会(2022年12月22
日(木))について

森幹事から資料に基づき報告があった。

(7) 宇和島東高等学校制度説明会(2022年12月
22日(木))について

矢野副会長から資料に基づき報告があった。

(8) 愛光学園制度説明会(2023年2月4日(土))
について

矢野副会長から資料に基づき報告があった。

(9) 高松商業高校制度説明会(2023年2月9日
(木))について

黒川幹事から口頭での報告があった。

(10) 女性活躍推進委員会クリスマスランチ会実

施報告(徳島12/13、高松12/14)

真鍋副会長及び亀川幹事から報告があった。

(11) 本部役員会・委員会の報告について(12月
～1月)

① 本部理事会・地域会会長会議の報告
久保会長から、特に本部理事会での重要
事項について、資料に基づき、補足説明を
加えながらの報告があった。

② 各委員会・会議の報告(出席委員)
橋川総務・経理担当幹事が、各委員会の
担当幹事に資料以外の補足の有無について
報告を求めたが、特段の補足はなかった。

(12) 四国会・各県部会の活動報告(12月～1月)
各副委員長からそれぞれの県部会の活動状
況について、資料に基づいた報告があった。

(13) 第64回 西日本連合総会(徳島大会)プレ
実行委員会報告

真鍋副会長から資料に基づき報告があった。

(14) その他

① 実務補習所(高松支所)の在籍状況につ
いて

池田幹事から資料に基づき報告があった。

② 2022年度～2023年度の行事予定について
(役員会・総会・制度説明会ほか)

橋川総務・会計担当幹事から、今後の予
定について資料に基づく報告があった。

③ 会員・準会員の異動・慶弔等(11月下旬
～1月)

橋川総務・会計担当幹事から、資料に基
づき報告があった。





四国会定例役員会議事録

(2023年度第1回)

1. 日 時

2023年4月20日(木)

13:30～16:00

2. 場 所

四国会研修室(高松市紺屋町)

3. 出席者(20名)

(会 長) 久保誉一

(副会長) 東 圭介、矢野和弘、
真鍋恵美子、橋本 誠

(幹 事) 池田哲也※、越智慶太、
亀川絵美子※、黒川一也、
塚本秀和※、橋川浩之、
野村幸太郎※、井料 愛※、
高須賀経※、別府 淳※、
森 貴弘※、孝志洋平※、
田中里佳※、齊藤 章※

(監 事) 堀川紀之

※はオンライン参加者

4. 欠席者(2名)

秋葉 見(幹事)、福山 優(監事)

5. 出席顧問(2名)

石川千晶、吉井 修

6. 陪席者(2名)

浪越敬二事務局長、香川佳美職員

7. 議 事

I 【会長挨拶】

橋川総務・会計担当幹事の司会により出席者は定足数を満たしている旨の報告がなされた後、久保会長から、年度末決算の忙しい時期ではあるが、新年度第1回の定例役員会となる。定期総会関係など盛りだくさんの内容ではあるが、奇譚のない発言をお願いしたいなどとの挨拶があり、規定により議長となり、議事録署名人に亀川幹事を指名し、議事に入った。

II 【審議事項】

(1) 第57事業年度 財務諸表等について

橋川総務・会計担当幹事より2022年度財務諸表等について、資料の定期総会議案書に基づき、主として予算との対比説明を行った。その中で事前に役員持ち回りで承認を得た中科目の流用についての補足説明もなされた。

堀川監事から、4月14日に橋川総務・会計担当幹事の立会のもと福山監事とともに監査を行った結果、業務は誠実に執行され、財務諸表等は適正に表示されている旨の監査報告があった。本審議事項について、特に質疑はなく全員挙手により承認された。

(2) 第58事業年度 事業計画(案)、正味財産増減に係る予算書(案)及び資金調達、設備投資及び特定資産に係る予算書(案)について

久保会長より、資料の定期総会議案書に基づき説明があった。事業計画(案)については、2月役員会からの変更はなく、予算についても大きな変更はないが、新たに、各県部会における若手会員との交流を図る目的で、会員行事補助を増額したことと、事務局職員のべ

ースアップを織り込んだ旨の説明があった。

石川顧問から来年の連合総会徳島大会PRのための熊本大会参加者の旅費・宿泊費等の予算は織り込まれているかとの質問があり、真鍋副会長、浪越事務局長から、宿泊費として特別に織り込んではいないが、実行委員会費用として計上している中で賄えるものと考えている旨の回答があった。その後は、特に質問、意見もなく全員挙手により承認された。

- (3) 第57回 四国会定期総会の提出議題について
久保会長から、資料の定期総会議案書に基づき、議案ごとに内容の説明があり、全員挙手により承認された。

Ⅲ【協議事項】

協議事項はなく、続いて報告事項に移った。

Ⅳ【報告事項】

- (1) 第57事業年度 事業及び会務報の概況について

久保会長から、資料の定期総会議案書に基づき記載内容ごとの説明、報告があった。

- (2) 第57回 四国会定期総会次第(案)について
久保会長から、資料に基づく報告があり、昨年が役員改選期であったことや本年は議案数も少ないことなどから、定期総会時間を1時間短縮したことなどが補足で説明された。加えて、久保会長から開催方法について、ハイブリッド方式で進めているが、コロナの収束状況や他の地域会の開催状況などから、リモート出席は取り止め、会場開催のみとしてはどうかとの提案があり、出席役員に諮ったところ、賛成多数で、開催方法は会場開催のみによることとなった。また、定期総会司会は亀川幹事、開会の辞は橋本副会長、閉会の辞は孝志幹事、懇親パーティー司会は東副会長、中締め挨拶は矢野副会長がそれぞれ担当する旨の確認がなされた。

- (3) 四国会厚生事業(図書配布)実施結果について

橋川総務・会計担当幹事から、資料に基づき報告があった。

- (4) 研修会実施報告及び開催予定について

- ① TPM(TOKYO PRO Market)研修会(2月17日(金)四国会研修室)

塚本幹事から、資料に基づく説明と好評であった旨の報告があった。

- ② 会計研修会(2月20日(月)TKP松山駅前カンファレンスセンター)

矢野副会長から、実施内容および参加人数等の報告があった。

- ③ 【中国会・四国会合同】中小監査事務所連絡協議会の研修会

(3月6日(月)中国会研修室+リモート)

別府幹事から、資料に基づき、内容の説明等を加えた報告があった。

- ④ 四国財務局長講演会(3月20日(月)四国会研修室)

東副会長から、資料のとおり実施した旨の報告があった。

- ⑤ 必須科目研修会(収録動画)(3月22日(水)、23日(木)四国会研修室+リモート)

塚本幹事から、ハイブリッド形式での実施したこと等の報告があった。

- (5) 「お仕事フェスタ2023」(3月4日(土)、5日(日)アイテム愛媛)

矢野副会長から、今回は高校生が多く、1人あたり約20分程度の説明を行ったなどの報告があった。

- (6) 四国会ニュース夏季号(第82号)編集(案)について

黒川幹事から、総会の報告等を掲載し、従来の内容で編集を進めたいとの説明があった。石川顧問から、自治体訪問などを実施し掲載してはどうかなどの提案があり、黒川幹事から検討してみる旨の回答があった。

- (7) 本部役員会・委員会の報告について(2月~4月)

- ① 本部理事会・地域会会長会議の報告
久保会長から、資料を基に主要な事項についての説明があった。また、重要事項については補足説明が加えられた。
- ② 各委員会・会議の報告（出席委員）
特段の報告はなかった。
- (8) 四国会・各県部会の活動報告（2月～3月）
各県部会長から、それぞれ報告がなされた。
- (9) 各県部会規約の変更について
久保会長から資料の定期総会議案書に基づき、2月定例役員会決議の内容に加え、各県部会規約の文言を合わせるなど軽微な変更を行っている旨の報告があった。
- (10) 第64回 西日本連合総会（徳島大会）第1回実行委員会報告
真鍋副会長から、資料に基づく報告があった。
- (11) その他
- ① 2023年度行事予定（定例役員会日程ほか、広報活動）
資料のとおりとの報告があった。
- ② 会員・準会員の異動・慶弔等（2月～3月）
資料のとおりとの報告があった。
- ③ その他
吉井顧問から、来年の連合総会（徳島大会）に向けて、本年の熊本大会では、四国会からの大勢の参加が望まれる。それを勘案すると予算計上の額が少ないのではないかとの意見があり、久保会長から、出席役員に予算増額について提案した結果、特段の異議もなく、予算に追加計上することとなった。

他に意見や質問等も無く、司会の橋川総務・会計担当幹事から、閉会が告げられ、最後に、久保会長が締めくくった。



委員会だより

第64回 西日本連合総会徳島大会 第1回実行委員会報告（議事録）

1. 実施日：2023年4月4日(火)
2. 場 所：JRクレメント徳島
(3F ハーモニーホール)
3. 時 間：17:00～18:00
4. 出席者（敬称略）
委員長：工藤誠介
副委員長（徳島県部会長）：真鍋恵美子
監 事：孝志洋平
委 員：福山（正）、多田、孝志（茜）、原、
長澤、藤井（太）、福山（優）、大寺、
藤原、田中（里）、田中（博）、後藤（吾）、
協力会社：(株)アイデル坂本様、
(株)エアトラベル徳島前田様
オブザーバー：石川千晶
四国会事務局：浪越敬二

【議事】

- (1) 委員会組織図の確認
- (2) 熊本での西日本連合総会について
 - ① 日時 令和5年10月20日(金)
 - ② 参加者数：未定
 - ③ 移動手段：未定
 - ④ 補助対象なのか？：旅費補助あり
 - ⑤ パンフレットについて：
アイデルに依頼

神山まるごと高専の画像については後日
検討

⑥ その他

(3) 過去の西日本連合総会の確認
第62回福山大会を基に確認

(4) (来賓への) 参加依頼について

① 徳島県知事：真鍋部会長と工藤実行委員
長が訪問

② 徳島市長：同上

③ 徳島県商工会議所会頭：同上（エアトラ
ベルより日程確保）

④ 四国財務局長：事務局に依頼

⑤ 神山まるごと高専理事長寺田親弘氏（記
念講演）：

工藤実行委員長と孝志茜委員長が令和5年
6月6日訪問予定

※ その他：大会統一テーマ未定

(5) 今後の実行委員会：

第2回実行委員会：

令和5年6月8日(木)17:00～

JRクレメント徳島（3F ハーモニーホール）

(6) その他

以下、議論流れ詳述・メモ

【トピック】

- ・熊本大会に関する確認
- ・統一テーマについての話し合い
- ・懇親会余興の検討
- ・来賓および来賓あいさつの確認
- ・エクスカーションについて
- ・その他のまとめ
- ・議事内容：

■ 2023年10月20日(金)熊本大会に関する確認

- ・熊本大会は補助対象となる。
- ・アイデル坂本様、エアトラベル徳島前田
様もご参加予定
- ・パンフレットは昼11:00～12:00頃まで
に配布する。
- ・お土産はすだち3個入りの300セットを

用意する。

- ・最低でも5～6人は参加する。
- ・四国会から旅費補助がある。
- ・懇親会の最後の「次回PR」でも宣伝の
出番がある。この時間だけ参加する人は
当日入りも可能。

■ 統一テーマについての話し合い

- ・熊本大会で配るパンフレット作成前にテ
ーマが決まればパンフレットに載せる。
決まらなければ熊本大会時のパンフレッ
トには掲載しない。（福山大会時には熊
本大会のテーマは未定だった。）
- ・テーマは神山まるごと高専にちなんだも
のが良い。
- ・次回の徳島県部会の総会の前までに決め
られればベター。

■ 懇親会余興の検討

- ・娯茶平連の阿波踊り、日和佐太鼓で検討
進める。
- ・いずれも徳島県の助成金が見える。（エ
アトラベル前田様より情報提供）
- ・孝志茜懇親会委員長より、チームラボへ
問合せをかけているがまだ返事がないと。

■ 来賓への依頼について

- ・徳島市側への日程の事前打診を藤原先生に。
- ・県知事は工藤先生と真鍋会長が会って
くれるようセッティングする。
（事前に秘書課に連絡すればスケジュール
押しさえてもらえる）
- ・神山まるごと高専理事長へのコンタクト
は茜先生が済ませたが、今ご多忙で連絡
が途切れている。
- ・式典の挨拶は、県知事と四国財務局長、
懇親会乾杯を商工会議所会頭に。

■ エクスカーションについて

- ・次回、エアトラベル様に何パターンかご
提示いただく。
- 1 泊案：祖谷温泉、など

当日案:まるごと高専視察、鳴門うず潮、
上勝周遊、など

同伴者周遊案(3hrs程度):阿波踊り会館、
眉山、ひょうたん島クルーズ、十郎兵衛
屋敷、など

■ その他のまとめ

- ・パンフレット用の写真は6月上旬頃までに準備したい。
- ・熊本大会当日のエクスカージョンについて、何パターンかをエアトラベルさんに提示してもらう。
- ・同伴者の周遊について、阿波踊り会館やひょうたん島クルーズなどを検討する。
- ・次回の総会は6月中旬に行う。
- ・大会式典の司会は大寺先生が担当し、懇親会の司会は女性司会者に依頼。
- ・出欠に関する連絡は6月8日(木)に再度行う。

【まとめ】

■ 次回第2回実行委員会

- ・令和5年6月8日(木) 17:00~18:00
JRクレメント徳島(3Fハーモニーホール)
(同じ部屋)
- (同日18:00~同じ部屋で県部会の総会、
19:00~上階で懇親会)→場所予約済み。

■ 次回までのタスク、次回アジェンダ等

- ・熊本大会の参加者
- ・統一テーマ検討
- ・来賓依頼のコンタクト進捗
- ・神山まるごと高専の写真(パンフレット掲載用)調達

第64回 西日本連合総会徳島大会 第2回実行委員会報告(議事録)

1. 実施日:2023年6月8日(木) 17:00~17:40
2. 場 所:JRクレメント徳島
(3Fハーモニーホール)

3. 時 間:17:00~18:00

4. 出席者(敬称略)

委員長:工藤誠介

副委員長(徳島県部会長):真鍋恵美子、
孝志洋平

オブザーバー:久保誉一

四国会事務局:浪越敬二

委 員:孝志(茜)、長澤、大寺、福山(優)、
原、福山(正)、藤井(太)、田中(里)、
矢野、藤原、多田、

協力会社:(株)アイデル坂本様

【議事】

1. 統一テーマの決定について:
 - ChatGPT(GPT-4)でアイデア出しを行い決定。
 - テーマ:「地方経済の新風—公認会計士による起業支援」
2. 来賓者の日程調整について
 - ・商工会議所会頭:招待状お渡し済み
 - ・徳島市長:藤原先生より市秘書課に伝達済み
 - ・徳島県知事:大寺先生より県秘書課に伝達予定
 - ・四国財務局長:浪越事務局長より、伝達済み
3. 記念講演について
 - ・神山まるごと高専との調整難航により、代替案を検討する。
 - ・代案「(株)メディアドゥ 代表取締役 藤田恭嗣」氏に依頼したい。
→TIBの関連から打診を試みる。
4. 熊本大会(2023年10月20日(金))について
 - ・午前チラシ配布組は要前日入り。夕方~懇親会のチラシ配布組は当日入り可。
 - ・今出席者は全員参加できると。
 - ・パンフレット:8月中に内容決定→先に写真使用許可取りとデータ準備を。
※(株)メディアドゥは規模も大きいので写真(未来コンビニ、TIB等含め)の権利関係の確認は慎重に。

- ・基本個々で現地集合。
- ・宿泊費補助は規定額の補助になる。

5. 今後の委員会について

- ・パンフレット内容確認
- ・藤田氏にアポイントメントを取ろう。
6月11日に真鍋先生が藤田さんと会う予定。
- ・次回はお盆明け、8月21日(月) 17:00～、
この場所：JRクレメント徳島
(3F ハーモニーホール)

【その他】

■エクスカッション案のプレスト

※ざっくばらんなアイデア出しに終始

神山、木頭、渦の道、大塚美術館
南部で釣り：「海漁丸」

(<https://kairyomaru.com/>) (福山優先生より)

市内：ひょうたん島、阿波踊り会館、眉山、
十郎兵衛屋敷

藍染め体験

etc.

■予算の財源について

- ・実行委員会の会場使用料等は、四国会の予算から出る予定だが、その他例えば熊本大会への旅費補助は、別途徳島大会の予算を財源とする。
- ・別途徳島大会の口座を準備して管理しておくこととなる→詳細は追ってアナウンス。
- ・口座ができるまで、徳島大会の予算を財源とする支出については、別建てで把握するなど工夫が必要かも。



準会員会四国分会だより

2022年度準会員会分会長の原田です。

3月に大阪にて全国幹事会が、また、6月には東京・公認会計士会館にて全国幹事会・通常総会が開催されました。通常総会には、全国の準会員だけでなく、JICPAの茂木会長をはじめ協会役員の方々も参加され、様々な交流を行うことができました。

また、四国分会としては、コロナ禍で長く活動できなかった時期を経て、約4年ぶりとなる新人歓迎会を6月に開催いたしました。

2023年度は、北條大地さんが分会長を引き継がれ、準会員活動を引っ張っていただく予定です。今後とも変わらぬお引き立ての程、よろしく願い申し上げます。

準会員会四国分会 分会長 原田康平



トピックス

高校制度説明 報告会実施内容

開催日：令和5年3月24日

参加者：公認会計士協会四国会愛媛県部会 7名
 矢野県部会長、森副部会長、渡辺会員、
 高須賀部会幹事、成松会員、八木会員、
 熊本会員

愛媛県部会による令和4年の公認会計士制度・
 高校説明会は公立高校5校・私立高校1校で実施
 された。当報告会では、まず矢野県部会長より、
 将来の公認会計士志望者の裾野を広げる重要な活
 動としての高校制度説明会について令和5年も積
 極的に取り組みたいという方針の説明があり、令
 和4年に実施した担当者間での情報共有を行い、
 次年度以降の活動に生かすとともに県部会員の多
 くが携わる活動として広げてほしいとの趣旨が伝
 えられた。

続いて参加者7名から各校で使用した教材・ス
 ライド等の紹介と説明内容及び改善点の報告があ
 った。会員間でのディスカッションでは主に以下
 のような意見が挙げられた。

【内容面】

- ・学校によって授業の一環で行われたり、任意
 参加の課外活動であったり、担当教諭よりア
 カデミックな内容を求められたりとケースが
 異なるためニーズに合った準備が必要
- ・スライド等をたくさん作ったとしてもすべて
 読めるわけではなく、ポイントのみを記載し
 たスライドに限定して説明したほうが効果的
 と感じた
- ・実際に公認会計士を目指すための試験対策(予
 備校の環境等)についてももっと触れてもよ
 いのではないか
- ・医師や弁護士と異なり一般には「公認会計士
 の仕事の内容」についてほとんど知られてい
 ないので、どのような仕事の内容なのか、ど
 のように社会に貢献している存在なのかをも
 っと知ってもらうことが重要と感じた
- ・意識的に女性の労働環境という点も話はした
 が、女子生徒の参加者の割合が高く女性視点

の説明または女性会計士からの声というのも
 重要だと感じた(今回6校ともすべて男性が
 説明)

- ・中高一貫校では参加者の年齢が幅広く語彙力
 などにも差があり、特に中学生には伝わらな
 い言葉があったので対応を考えたい(「簿記」
 「上場会社」「株式公開」など)
- ・割当時間も学校毎にさまざまであったが、
 タイムマネジメントできるような事前準備が
 必要
- ・質問等を受け付けても最初はなかなか生徒か
 らの反応が薄い場合がある。会員間のディス
 カッション形式から始めるなど工夫を行った

【準備面】

- ・アンケートの配布漏れがあり直前の対応でバ
 タついた。事務局との連携を深めたい
- ・学校毎の担当者間で横連携を強化したい。ま
 た、使用したデータ(スライド等)も共有で
 きれば良い
- ・レーザーポインターなどを準備してわかりや
 すい説明をすべき

報告者 成松 裕



公認会計士制度説明会の開催

2023年も各県において公認会計士制度説明会を開催しました。

香川県では2月9日(木)に高松商業高校(参加:商業科2年生38名)、7月5日(水)に香川大学(参加:法学部・経済学部3・4年生15名)で実施しました。



高松商業高校 (2023年2月9日)



高松商業高校 (2023年2月9日)



香川大学 (2023年7月5日)



香川大学 (2023年7月5日)

高松商業は今回が初めての開催でしたが、放課後の実施にも係わらず、事前に希望者を募ったところたくさんの生徒が参加してくれました。説明会終了後に30分ほど個別質問の時間を設けたのですが思いのほか大勢の生徒から質問があり、各講師の周りを学生達を取り囲んでいました。香川大学は毎年行っている四国財務局寄附講義のひとつで、実施後の学生アンケートからも、公認会計士という職業への関心度の高さが伺えました。

愛媛県では2月4日(土)に愛光学園(参加:中学1年~高校2年生22名)、3月4日(土)、5日(日)は「お仕事フェスタ2023」に参加しました。愛光学園は2018年以来の開催で、同じく校内で参加者を募って実施しました。愛媛県部会から学園のOBである3名の先生方が講師として訪問し、公認会計士の仕事内容や魅力をお話しさせていただきました。

「お仕事フェスタ」には2013年以降、職業紹介ブースとして参加しています。コロナの影響で中止となった年はあったものの、今年で9回目の参加でした。小・中・高・大学・一般と参加対象も広く、公認会計士のブースには2日間で35名(小学生(保護者同伴)、高校生)の方に参加いただきました。

今年も公認会計士の認知度向上、将来の担い手育成のために制度説明会やハロー！会計を積極的に実施していく予定です。



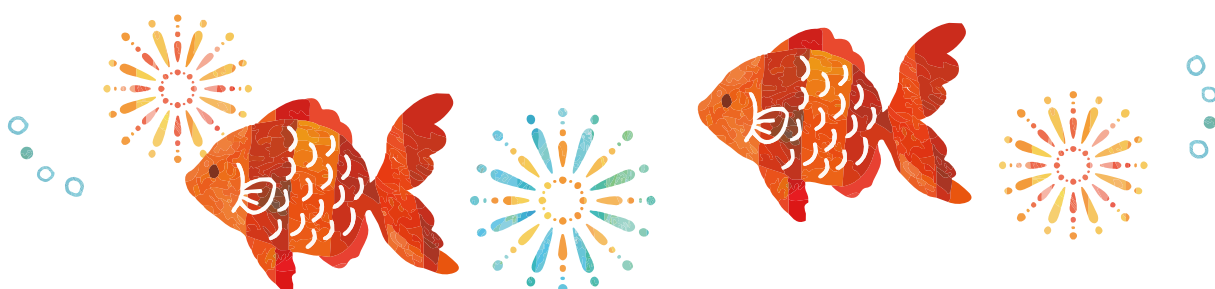
お仕事フェスタ2023

2023年～2024年 四国会行事予定

(2023年6月30日現在)

月	役員会等	研 修	そ の 他
2023年 7月	26(木) 本部定期総会	10(月) 必須科目研修会 (DVD：2科目)	5(水) 香川大学制度説明会 6(木) 「公認会計士の日」新聞広告 15(土) 土佐中学校制度説明会(高知) 24(月) 愛媛県立三島高等学校制度 説明会(四国中央市) 下旬 四国会ニュース夏季号 (第82号)発送
8月		予定 非常利関係DVD研修会 (公益法人) 16(水)～18(金) 夏季全国研修会	19(土) ハロー！会計in高松 (四国会研修室)
9月	15(金) 第2回厚生委員会、定例役員会 (高松)	8(金) 第44回日本公認会計士協会 研究大会【札幌大会】 予定 女性活躍推進委員会主催 研修会・懇親会 予定 税務業務部会四国分会共催 税務事例研修会 (本部租税相談員)	20(水) 地域会活動評価 第1次評価会議(高松)
10月		予定 社会福祉法人研修会、 医療法人研修会 (参集+リモート) 12(木)～13(金) 秋季全国研修会 20(金) 第63回西日本連合総会 熊本大会	
11月		予定 会計研修会(松山) 予定 税務業務部会四国分会共催 税務研修会 (国税局又は国税不服審判所)	27(月) 会計監査人監査(事務局)
12月	8(金) 第3回厚生委員会、定例役員会 (高知)	予定 2023年下期 会計・監査トピックス研修会 (収録動画) 7(木)～8(金) 冬季全国研修会	6(水) 愛媛県立新居浜西高等学校 制度説明会(新居浜市) 8(金) 四国会役員・高知県部会 合同忘年会(高知)
2024年 1月		15(月) 新春全国研修会	
2月	16(金) 第4回厚生委員会、定例役員会 (松山)	7(水)～9(金) 春季全国研修会	
3月			

(注) 行事予定は、2023年6月末現在のものであり、その後の変更又は追加(主として研修)されることがありますので、ご注意ください。なお、研修について、テーマ等希望があれば、いつでも事務局にご連絡ください。



研修会実施概要(2022年2月～2023年6月)

開催年月日	2023年2月1日(水) ～2月3日(金)	2023年2月6日(月)	2023年2月17日(金)
研修会名	【中継】春季全国研修会	【四国会・税務業務部会 四国分会共催】 税務研修会	TPM研修会
テーマ	監査基準報告書600 「グループ監査における 特別な考慮事項」の解説 ほか	「国税不服審判所の概要」 「最近の公表裁決事例」	TOKYO PRO Market と 会計士の関わり(仮)
講師	監査・保証基準委員会 グループ監査起草委員長 五十嵐 勝彦 氏	高松国税不服審判所長 小坂井 博 氏 国税審判官(特定任期付) 清水 博嗣 氏	組織内会計士協議会ネット ワークサポート専門委員会 委員 宝印刷(株) 執行役員 鎌田 浩嗣 氏
開催地及び 会場名	高松、松山、徳島	四国会研修室+ Microsoft Teams	四国会研修室
参加者数 (単位:人)	高松0、松山8 徳島4、計12	13	7(うち事務所職員1)

開催年月日	2023年2月20日(月)		2023年3月6日(月)	
研修会名	【四国会・愛媛県部会共催】 会計研修会		【四国会・中国会合同】 中小監査事務所連絡協議会の研修会	
テーマ	会計不正事例に学 ぶ・不正の発生要 因、不正の端緒と着 眼点	最近の会計基準の 検討状況と非財務 情報開示の充実に ついて	「中小監査事務所を 取り巻く監査環境 の変化と倫理規則 の改正について」	「監査事務所検査 結果事例集の公表 について」
講師	合同会社会計・監査リサーチセンター 代表社員 布施 伸章 氏		中小事務所 支援担当常務理事 吉村 智明 氏	公認会計士・ 監査審査会 会長 松井 隆幸 氏 公認会計士監査検査官
開催地及び 会場名	TKP松山市駅前カンファレンスセンター		Microsoft Teams	
参加者数 (単位:人)	28(うち一般15)	28(うち一般15)	10	9

開催年月日	2023年3月20日(月)	2023年3月22日(水)	
研修会名	【四国会・香川県部会共催】 四国財務局長講話	必須科目研修会(収録動画)	
テーマ	通貨について ～その意味や歴史、未来～	グループ通算制度と実務上の留意点	倫理規則改正及び倫理規則実務ガイダンスについて
講師	四国財務局 局長 米田 博文 氏	租税調査会 法人課税専門委員会 専門委員 佐藤 正樹 氏	倫理担当常務理事 西田 俊之 氏
開催地及び会場名	四国会研修室	四国会研修室 + Microsoft Teams	
参加者数 (単位：人)	15	8	5

開催年月日	2023年3月23日(木)		2023年6月13日(火)	
研修会名	必須科目研修会(収録動画)		2023年上期会計・監査トピックス研修会 (収録動画)	
テーマ	IT委員会研究報告 第60号「監査データ 標準化に関する留意 事項とデータアナリ ティクスへの適用」 の解説	事例から学ぶ「ビジ ネス視点の不正対策 ～事業会社の永続的 価値創造を支える不 正対策を考える～	「企業会計・監査」	「非営利法人 (学校法人を含む)」
講師	テクノロジー委員会 監査データ標準化 対応専門委員会 専門委員長 木村 章展 氏	CFE,CIA、CRMA 真柳 元 氏	税効果対応専門委員会 専門委員長 市原 順二 氏 企業情報開示委員会 委員長 森 洋一 氏 他3名	非営利法人委員会 委員長 菅田 裕之 氏
開催地及び会場名	四国会研修室 + Microsoft Teams		四国会研修室 + Microsoft Teams	
参加者数 (単位：人)	4	5	12	12

開催年月日	2023年6月20日(火)	
研修会名	第57回定期総会	
テーマ	「総会」	「本部会務報告」
講師	日本公認会計士協会 会長 茂木 哲也 氏	
開催地及び会場名	JRホテルクレメント高松	
参加者数 (単位：人)	45	44

会員の状況

(主たる事務所基準)

(2023年6月30日現在)

県別	会 員		準会員			合 計
	公認会計士	監査法人	一号準会員	二号準会員	四号準会員	
香川県	121	0	1	1	15	138
愛媛県	70	4	0	0	7	81
徳島県	34	1	0	0	2	37
高知県	24	0	0	0	1	25
合 計	249	5	1	1	25	281

(参考) 西日本ブロック及び全国会員数

(2023年6月30日現在)

地域会	会 員				準会員						合 計
	公認会計士	外国公認会計士	監査法人	計	一号準会員	二号準会員	三号準会員	四号準会員	五号準会員	計	
中 国	498	0	5	503	2	8	0	75	-	85	588
四 国	249	0	5	254	1	1	0	25	-	27	281
北部九州	870	0	7	877	0	13	0	172	-	185	1,062
南九州	229	0	3	232	0	3	0	18	-	21	253
沖 縄	94	0	1	95	0	2	0	5	-	7	102
-	-	-	-	-	-	-	-	-	193	193	193
全 国	34,356	2	281	34,639	76	497	0	7,175	193	7,941	42,580

- (注) 1.一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
2.二号準会員は、会計士補
3.三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
4.四号準会員は、公認会計士試験に合格した者（一号準会員に該当する者を除く。）
5.五号準会員は、特定社員（地域会には所属しない。）

◎慶 弔 (2022年9月～)

ご出産おめでとうございます

佐 渡 祐 収	会 員 (香川県部会)	2022年11月 8日	ご令息
矢 野 基 樹	会 員 (香川県部会)	2023年 3月10日	ご令嬢
天 野 貴 文	準会員 (徳島県部会)	2022年 9月15日	ご令嬢
小 山 准	準会員 (香川県部会)	2022年12月 3日	ご令嬢

◇お知らせ◇ ご結婚またはご出産されますと申請により祝金が支給されます。
詳しくは、四国会事務局までお問合せください。(TEL: 087-826-7628)

「四国会ニュース」には、個人情報の一部含まれていますので、保存・廃棄について十分ご注意ください。

異 動 一 覧

(2023年1月～6月)

所 属	氏 名	異動年月日	異 動 内 容
【入 会】 (会 員)			
香川県部会	村 井 貴 臣	2023.1.30	中国会より転入(有隣トーマツ高松事務所)※
〃	赤 丸 亮 治	2023.6.14	中国会より転入(有隣トーマツ高松事務所)※
(準会員)			
香川県部会	小 野 敬 大	2023.1.25	新規入会準会員(有隣トーマツ高松事務所)※
愛媛県部会	山 田 雅 子	2023.4.4	東京会より転入 自宅・事務所(住所変更)
【退 会】 (会 員)			
香川県部会	竹 内 淳 二	2023.1.16	近畿会へ転出
〃	伊 勢 友 保	2023.3.9	近畿会へ転出
愛媛県部会	大 平 泰 裕	2023.3.24	中国会へ転出
	岸 本 誠一郎	2023.6.24	業務廃止による退会
【住所変更】 (会 員)			
香川県部会	森 川 さち子	2023.2.14	事務所名変更
〃	武 内 昌 樹	〃	自宅変更
〃	壺 谷 啓一郎	2023.6.27	自宅変更
愛媛県部会	徳 増 竜 伍	2023.1.30	事務所変更
〃	白 石 新	2023.2.14	自宅変更
(準会員)			
香川県部会	樋 口 明 夫	2023.4.10	自宅変更
愛媛県部会	福 田 英 樹	2023.2.13	事務所変更

※ 松山連絡事務所勤務

寄贈等新刊図書一覧

(2023年1月～6月)

図書名	著者・編集者	発行所	寄贈者	寄贈年月
年輪会プロフィール2023年版	大阪中小企業投資育成(株)	同左	同左	2023.1
第18回(2022年)税に関する論文 入選論文集	公益財団法人 納税協会連合会	同左	同左	2023.2
日本公認会計士協会沖縄会 50年史	50周年記念誌 プロジェクトチーム	日本公認会計士協会 沖縄会	同左	2023.2
ファミリービジネスは 日本を救う	大阪弁護士会・日本公認 会計士協会近畿会 ファミリービジネス 研究会	株式会社 清文社	日本公認会計士 協会近畿会 副会長・ 税制税務委員長・ 経営委員長	2023.4
決算関連書類手引書有価証券 報告書作成の手引き(2023年版) 連結財務諸表を作成している会社用 ※2冊	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	同左	2023.4
決算関連書類手引書有価証券 報告書作成の手引き(2023年版) 連結財務諸表を作成していない会社用 ※1冊	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	同左	2023.4
企業価値向上のための 経営指標大全	大津 広一	ダイヤモンド社	(2023年度学術賞 -MCS賞受賞作品 ※四国会購入)	4 県 図 書 館、5 大 学 (1 冊 事 務 局 保 管)
令和4年度版「今日の私学財政」 CD-ROM (高等学校・中学校・小学校編)	日本私立学校振興・ 共催事業団	同左	※本部非営利Gから 事務局保存	2023.5
令和4年度版「今日の私学財政」 CD-ROM (大学・短期大学編)	日本私立学校振興・ 共催事業団	同左	※本部非営利Gから 事務局保存	2023.5
新日本法規財団奨励賞 受賞論稿集 (2022年度第12回)	(一財)新日本法規財団	新日本法規出版(株)	(一財)新日本 法規財団	2023.6
四半期報告書作成の手引き (2023年第1四半期版) 四半期連結財務諸表を作成している 会社用 ※2部	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	(株)プロネクサス 相談部 芦川	2023.6
四半期報告書作成の手引き (2023年第1四半期版) 四半期連結財務諸表を作成していない 会社用 ※1部	ディスクロージャー 実務研究会 (株)プロネクサス	同左	(株)プロネクサス 相談部 芦川	2023.6



研修免除・軽減の申請について

【申請期間】 2023年4月1日～2023年8月31日 (必着)

- ・申請は事業年度ごとに必要です。
- ・2022年度に承認された場合でも新たに申請してください。
- ・2023年度より、免除・軽減の範囲について変更がありました。

2023年度から公認会計士の資質維持向上等を図る目的から、関係する細則の変更が行われ、免除・軽減の対象範囲が変更されています。
詳しくは、本部ウェブサイト会員ページ及び
「CPDレター4月号(2023年度保存版)」(4/15発行)をご確認ください。

■研修の免除・必要単位数軽減範囲の見直し

申請事由	公認会計士業務への従事	名称使用	判定 (改正前)	判定 (2023年度から)
3号(国又は地方公共団体勤務) 4号(一般事業会社・団体勤務) 5号(非居住者) 6号(大学教員)	なし	あり	軽減上限20単位	軽減上限20単位
		なし	免除	軽減上限20単位
6号(会社経営者(常勤・非常勤))	なし	あり	軽減上限20単位	免除・軽減なし
		なし	免除	免除・軽減なし

【参考】2023年度以降のCPD及び会費の免除等の申請可否について

2023年度から会費の減額対象も変更となります。CPDの免除・軽減対象範囲の変更と会員の減額対象の変更について、対比表を参考までに示します。

No.	申請理由	申請可否			
		CPD		会員	
		免除	軽減	免除	軽減
1	負傷又は疾病のために療養	○	○	○	○
2	国会議員又は地方公共団体の議会の議員	○	○		
3	国又は地方公共団体に常時勤務		○		○
4	法人その他の団体(一般事業会社等)に常時勤務		○		○
5	所得税法2条第1項第五号に規定する非居住者		○		○
6	大学教員(常勤)		○		
7	登記される役職者(会社経営者等)				
8	弁護士等他資格業務に専念	○	○		
9	出産育児休業	○	○	○	○
10	介護休業	○	○	○	○
11	配偶者の海外勤務に同行	○	○		○
12	留学	○	○		○
13	国内の大学や大学院に在学し学業に専念	○	○		○
14	監査に従事しておらず(※)、かつ年度中に満80歳	○	○	○	○
15	上記以外の事由で公認会計士としての業務に従事していない	○	○		

※会費免除については監査に従事していても可

高松国税不服審判所からのお知らせ

あなたの専門的知識や実務経験を求めています！ 国税審判官（特定任期付職員）の募集について

国税不服審判所では、弁護士、税理士、公認会計士などの高度の専門的知識や経験等を有する方を、国税審判官（特定任期付職員）として募集しています。

1 職務内容

国税不服審判所長に対してされた審査請求に係る事件の調査・審理及び議決書の作成等

2 応募条件

- (1) 弁護士、税理士、公認会計士又は大学の教授若しくは准教授等の職にあった経歴を有する者で、国税に関する学識経験を有すること
- (2) 職務を遂行するために必要とされる高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有すると認められること

※ 「国税に関する学識経験」の程度など、応募条件の詳細については、国税不服審判所ホームページの「国税審判官（特定任期付職員）募集」から「募集要項」及び「Q&A」をご参照ください。

3 採用条件等

- (1) 採用形態 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する法律（以下「任期付職員法」）に基づき、常勤職員の国家公務員として採用
- (2) 採用人数 15名程度
- (3) 採用日 令和6年7月10日
- (4) 任用期間 原則として3年間（希望により2年間も可・更新あり）
- (5) 勤務地 全国各地の国税不服審判所の支部（又は一部の支所）
- (6) 給与 任期付職員法に基づき支給（年収840万円から1,000万円程度を予定）

4 応募・選考

- (1) 応募期間 **令和5年8月1日（火）から10月20日（金）まで**（消印有効）
- (2) 応募方法 国税不服審判所ホームページに掲載している所定の履歴書に必要事項を記入の上、資格証明書の写しと併せて、下記の宛先までご送付ください。
- (3) 選考方法 書類選考及び面接試験

5 その他

- ・ 国税審判官（特定任期付職員）への応募を検討されている方に向けて、募集説明会（オンライン）を開催いたします。
- ・ その他、募集に関する詳細については、国税不服審判所ホームページの「国税審判官（特定任期付職員）募集」ページをご参照ください。



お問い合わせ先（応募書類宛先）

国税不服審判所 管理室 総務係
〒100-8978 東京都千代田区霞が関3-1-1（財務省本庁舎4階）
電話：03-3581-4101（代表）

あなたの専門的知識や実務経験を求めています！ 国税審判官（特定任期付職員）の募集に関する説明会

国税審判官（特定任期付職員）への応募を検討されている方に向けて、募集に関する説明会を開催します。

オンライン開催のため、ご自宅等からご参加いただけます。是非、お気軽にご参加ください。

開催日時

第1回	令和5年8月22日（火）	18:30～19:45
第2回	令和5年9月21日（木）	18:30～19:45

開催方法

オンライン（Cisco Webex Meetings）

※「Cisco Webex Meetings」の利用に必要な環境は、当日までに各自でご準備ください。

プログラム（予定）

- ・ 国税不服審判所の概要や募集要項についてご説明
- ・ 現職の国税審判官（特定任期付職員）から経験談をご紹介
- ・ 質疑応答

申込方法

参加希望回の前日 13 時までに、下記のとおりメールにてお申込みください。

宛先：saiyo-shinpan@kfs.nta.go.jp

件名：参加申込（募集説明会）

本文：・ 氏名（ふりがな）


- ・ 職種（弁護士、税理士、公認会計士、大学教授・准教授）
- ・ 参加希望回
- ・ 電話番号（当日接続不良などの際に連絡が取れる番号）

※参加リンク等の詳細については、参加希望回の前日までに、お申込みいただいた際のメールアドレスへご連絡いたします。


連絡先

国税不服審判所 管理室 総務係

電話：03-3581-4101（内線 3901・3923）



あ と が き



小学生を対象とした「ハロー！会計」を8月に開催予定で、その準備を進めています。ここ数年のコロナ禍の影響もあり、香川県では2019年以来久々の開催となります。参加しやすいように夏休みの開催とし、対象は小学4年生～6年生、保護者の方の同伴も可、会場は四国会研修室、定員20名で募集を開始したのですが、募集開始から1日もかからずに定員に達し受付終了となりました。会計教育に対する世間の注目が高まっていることを実感しありがたいと思いますが、私の見込みの甘さにより、興味を持っていただいている方が多くいるにもかかわらず、皆さんに参加してもらえただけの十分な広さの会場を準備できなかったことは申し訳なく思っています。

会計リテラシーは社会に出てから多くの人にとって重要になるにもかかわらず、教育を受ける機会がほとんどないのが現状だと考えられます。ハロー！会計を通じて、会計に興味を持ってくれる人を少しでも増やして行ければと思います。開催当日は参加してくれた小学生に怖がられないように、にこやかに、分かりやすく説明できるよう頑張ります。

(広報担当幹事 黒川 一也)

インフォメーション

旅費の補助についてお知らせ

第44回日本公認会計士協会研究大会札幌大会および第63回西日本連合総会熊本大会へご参加の方には四国会より参加補助金を支給させていただきます。

なお、大会ごとに支給の要件が異なりますので下記をご参照ください。

日本公認会計士協会研究大会札幌大会（9月8日（金））

補助金額：50,000円/おひとり（会員・準会員）

要件：午前の「記念講演」から午後の「研究発表（2コマ）」まで、すべて参加することが必須となります。

※「記念講演」のみ、「研究発表」1コマのみの受講などは支給の対象外となります。

西日本連合総会熊本大会（10月20日（金））

補助金額：40,000円/おひとり

要件：「総会」および「記念講演」へ参加することが必須となります。

なお、両大会とも「懇親会」のみの参加は補助金支給の対象外となりますのでご注意ください。

発行者：日本公認会計士協会四国会 発行人：久保誉一 編集人：黒川一也
〒760-0027 高松市紺屋町1番地3 香川紺屋町ビル6階
TEL.087(826)7628 FAX.087(826)7629
e-mail：shikoku@sec.jicpa.or.jp

多様性に挑む 公認会計士 、期待と信頼を胸に

第44回 日本公認会計士協会 研究大会

札幌大会2023

開催日 2023年9月8日(金)

会場 ロイトン札幌 (札幌市中央区北1条西11丁目)

■お問合せ

日本公認会計士協会 会務運営戦略本部研修グループ TEL.03-3515-1126
日本公認会計士協会 北海道会 TEL.011-221-6622

■企画運営

継続的専門研修制度協議会
北海道会研究大会実行委員会



©2010 熊本県くまモン#K34781

日本公認会計士協会
第63回
西日本連合総会
熊本大会

2023年10月20日(金)

[会場] ホテル日航熊本

熊本市中央区上通町2-1 TEL:096-211-1111



日本公認会計士協会 南九州会

TEL:096-352-3737 FAX:096-352-3700